

RID 2780

茅ヶ崎ロータリークラブ週報

第59代会長 岩澤 あゆみ

第59代幹事 中山 富貴子

Painted by Kenzo Tanaka

2018-2019年度

インスピレーションになろう



〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2019年2月16日(木) 第2838回例会 2780地区第4グループIM 於:レンブラントホテル海老名

≡本日の例会行事≡

第4グループ6クラブ合同例会 ◇歌唱 「君が代」「四つのテスト」 ◇会長挨拶 ◇幹事報告
◇委嘱状伝達式 [2018-19年度翻訳タスクフォース委員会] 成田栄二会員
※引き続き第4グループ Intercity Meeting 開催



Intercity Meeting (通称 IM) の開催は必ずしも義務というわけではありませんが、当 2780 地区第 4 グループではほぼ毎年恒例となっています。ガバナー補佐が主導し、テーマを決めて、グループ内の全クラブが参加して行われるため、懇親を深める場ともなっています。次年度は我が茅ヶ崎クラブが和田幸男ガバナー補佐を輩出することになっており、必然的に IM のホストクラブということになります。IM 実行委員長は大箭会員。既に 2020 年 2 月 15 日 (土) 開催されることも決まっています。頑張りましょう！



JAPAN FOR
UNHCR
難民を守る。難民を支える。
国連UNHCR協会

難民を守る。

難民を支える。

トルコからギリシャのレスボス島まで、命がけで逃れてきたシリア難民の家族
©UNHCR / Heesward Holland

① 世界では今、110人に1人が紛争や迫害で家を追われ、難民や国内避難民となって厳しい避難生活を送っています。紛争や迫害によって移動を強いられた人は6,850万人を超え、戦後最多となりました。世界各地で紛争が勃発し、その数はこの5年でおよそ2倍にまで急増したのです。難民の半数以上は子どもたちで、避難生活の平均年数は17年にも及ぶと言われています。平穏だった生活が奪われた人々は、苦境に立ち向かいながらも今を懸命に生きています。

② UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) は、1950年に設立されて以来、世界最大の難民支援機関として、紛争や迫害で故郷を追われた人々を守り、支える人道援助活動を行っています。日本では、国連UNHCR協会がUNHCRの公式支援窓口として、UNHCRの活動を支えるための広報・募金活動を行っています。難民の願いは「いつかもう一度、ふるさとへ」。私たちは「すべての難民が難民でなくなるその日まで」活動を続けていきます。



難民とは 紛争や、宗教・国籍・政治的な意見が異なることによる迫害などが原因で、祖国においては生命の安全を脅かされるため、やむを得ず他の国に避難しなければならなかった人

国内避難民とは 難民と同じような理由で故郷を追われ、自国内で避難を強いられている人



基調講演の中村恵様



補足説明された富田景樹様



生駒秀之ガバナー補佐と中村様



IMでは「インスピレーション～人道支援の実践について～」をテーマとし、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) の中村恵様のわかりやすい基調講演により、難民の現状が理解されました。各クラブが人道支援の実践例を紹介する場面では、当クラブからは岩澤あゆみ会長がフィリピンへの人道支援への青写真を語りました。これからの実現へ向けて一歩ずつ進みましょう

